



渡辺 悟



動画配信中

令和元年台風第19号の復興に全力を！

問

市内に大きな被害をもたらした台風第19号による被災者を支援するため、新たに復興推進室等を組織し、一日も早い復興を実現すべきと考えるがどうか。

総務部長

今回の台風により被害を受けた方々の生活は依然として厳しい状況が続いている。本市では11月21日に災害対策本部を解散して災害復興本部を設置し、現在市役所全庁体制のもとで被災した皆様の復興を支援しており、さらなる支援体制の強化については今後検討していく。

◆グランドデザインとエリアの再編

問

昭和の大合併以来継続してきた小学校を単位とする地区の考え方を見直し、生活圈や経済圏を配慮した中学校を単位とする自治区を検討すべきではないか。

市長

現在の地区は市民生活の中に深く浸透していると感じているが、少子高齢化の進展による空き家の増加や高齢者の交通手段の確保など新たな課題もある。地区の見直しに当たっては、それぞれの地区で事情が異なることから、まずは現状や課題を整理し、自治組織と問題意識を共有しながら今後のあり方を模索していきたい。



斎藤 昌之



動画配信中

本市の土地利用を問う！

問

地域再生法が改正されたことで、農振農用地においても農業関連施設を中核にした産業団地であれば開発の可能性があると思うが、考えを聞きたい。

産業観光部長

同法の改正により、農林水産業振興のための施設に限り規制緩和の対象となったが、あくまで農地を守ることが前提の改正である。そのため、全ての規制が緩和されたわけではなく、都市的土地利用を進めるためには課題も多いが、全国的な活用事例を学びながら研究していきたい。

◆市街化調整区域の土地利用

問

市街化調整区域内において、小学校周辺を宅地分譲が可能な開発許可基準の緩和地区としているが、その見直しについて大まかな予定を示せないのか。

都市建設部長

本市の市街化調整区域のあり方については、足利市立地適正化計画を策定する中でしっかりと議論したいと考えている。現段階では基準緩和地区の見直しについて具体的な時期を示すことはできないが、今後の議論の中でさらなる基準緩和が必要となった場合には、県等と協議し、スピード感を持った対応に努めたい。



平塚 茂



動画配信中

尾名川水門への排水ポンプの設置を望む！

問

台風第19号による尾名川下流域の浸水被害はかつてないほどの規模であった。尾名川水門が閉鎖された際の溢水を防ぐため、排水ポンプの設置を強く望むが、市の考えを聞きたい。

市長

尾名川水門への排水ポンプ設置により、水門が閉鎖された際に強制的に排水することが可能となる。浸水被害の軽減に非常に有効と考えられるため、排水ポンプを備えた排水機場の整備について、河川管理者である国や県に強く要望していく。

◆内水氾濫対策

問

このたびの台風や過去の局地的豪雨における内水氾濫の状況を分析し、長期的な浸水防止計画を作成すべきと考え、市の方針を聞きたい。

上下水道部長

内水氾濫による浸水対策については、被害状況と発生要因の分析、検証を行うとともに、施設整備等のハード対策と危機管理体制の構築等のソフト対策が重要である。今後は中・長期にわたる段階的対策の基本的な方針を定め、双方の対策を適切に組み合わせた効率的・総合的な雨水計画策定に取り組んでいく。